

す。

ただ、私といたしましても、この大会をぜひ今後また再び行ってほしいということで、この芸能大会の事務局のほうにも会長さんのほうにも、お願いもしております。

そういうところで、今、議員おっしゃられるように、この盆踊りのほうが、申請が今されているというようなことでありますので、市といたしましても、できる限りの協力は惜しまないつもりであります。今後とも、もしこの盆踊保存会のほう、そしてまた郷土芸能保存会のほうが合同でのそういった大会が開催できれば幸いかなというふうに考えております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） どうもありがとうございます。

この盆踊りも郷土芸能発表大会の折には、出展をされて踊っておられました。

そういうことで、教育委員会文化財課だけでなく、行政のほうも、こうなって観光の拠点になってくるわけですから、そこら辺にも力を入れて横、縦のつながりを持って進めていただきたいというふうに思います。

私のほう、時間になりましたので、あと初村議員のほうにバトンを渡します。

ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） 関連質問に入ります。

新政会、14番、初村久藏君。

すいません、登壇してお願いします。

○議員（14番 初村 久藏君） 登壇するの。

○議長（小川 廣康君） はい、一般質問席がないですので、登壇してお願いいたします。最初の分だけ。

○議員（14番 初村 久藏君） 新政会の初村久藏です。

同僚の春田議員の関連質問をいたしたいと思います。

第2次対馬市総合計画について、春田議員のほうから大きな3点ほど質問がありました。

私は、4点目の自然と暮らしが共存する対馬ふるさとづくりについて質問をしてみたいと思います。

豊かな自然環境を取り戻すための有害鳥獣対策について。

イノシシ、鹿、森林、農地への被害が深刻であり、生態系への影響が甚大であります。駆除活動について、今後の仕組みづくりについてお伺いをいたします。

以上です。また議席より申したいと思います。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 初村議員の質問にお答えいたします。

時間があまり、残り10分となっておりますので、ちょっと内容を少し割愛をさせて説明をさせていただきます。

対馬市では、有害鳥獣による被害対策を進めるため、被害の防護対策、捕獲事業、資源活用をこの3点を主要施策として実施をしております。

防護対策につきましては、過去4年間で実施したワイヤーメッシュの設置延長は約35キロメートルであります。その結果、農業被害額は平成28年度から徐々に減少しているところがあります。しかしながら、森林内では、鹿の生息数については、令和2年1月、長崎県が実施した鹿生息数調査では4万1,000頭との報告を受けております。

捕獲事業につきましては、捕獲頭数は毎年増えており、鹿の捕獲は令和元年度では過去最高の8,236頭の実績になりました。また、イノシシは、5,367頭で、前年度と比較しますと約2倍となっております。今年度1月末現在は、さらにその約1.8倍の捕獲実績となります。今後も捕獲を進め、生息数の減少に努めてまいります。

また、地域ぐるみで被害対策として進めている地区捕獲隊の結成でございますけれども、現在13地区となっております。それとまた、地区捕獲隊は、農林家などの地区内の捕獲作業、餌の管理や見回りを行って、ハンターと協力しながら地区内の駆除に従事する協定を結ぶものであります。

また、この第2次対馬市総合計画後期計画の中に定めた有害鳥獣対策でございますけれども、その中でも捕獲事業につきましても、捕獲従事者の増加を図るため、今年度は新型コロナウイルス感染症対策事業の活用によりまして、通年の5倍近い50名が新たに捕獲従事者に加わりました。既存の従事者193名と合わせますと243名となっております。

今後も、捕獲従事者を増やすとともに、技術研修、ハンター育成に取り組み、山間部の一斉捕獲事業の拡大に努めてまいります。

健全な森林を管理していくためには、鹿の適正な生息頭数と言われる3,500頭まで減少させる集中的な捕獲を進めることが肝要であり、環境省や長崎県など関係機関と連携した捕獲強化を今後、粘り強く進めてまいりたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） ありがとうございます。

別の視点でちょっと、捕獲関係はいろいろと今、市のほうも研究をして頑張っておられるようにありますので、それを省きまして、一応イノシシ、鹿ですね、鹿の獣肉加工と販路について、

そして皮革製品の加工品の対馬市の今、現状はどういうものかちょっと分かってあれば教えてください。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 担当部長のほうからお答えさせていただきます。

○議長（小川 廣康君） 農林水産部長、佐々木雅仁君。

○農林水産部長（佐々木雅仁君） 初村議員の加工品の状況ということでございましょうか。

加工品につきましては、今、対馬市ではいとなみ協議会を通してジビエ肉については、学校給食のほうに提供をしております。

ジビエ肉については、元年度の実績としまして、約500キロを学校給食に提供しております。あと、鹿、あの皮については、これもいとなみ協議会を通じて販売をしております、今のところ対馬の業者さん、d a i d a iさんというところですけども、そのほうに販売をして。そこから島外等に販売をしてもらっているところでございます。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） やっぱり、肉、革製品の販路についても市も最初に立ち上げたわけですけど、やっぱり加工される人たちにある程度の補助金やってもいいんじゃないかろうかと思っておりますけれども、そののとも今から研究してもらい対馬製品が出回るような方向をしてもらいたいと思います。

それと、イノシシ、鹿の対馬島内の共存共営についてですけど、今鹿が対馬の適正頭数は3,500頭と市長のほうから言われましたけど、今現在どのくらい生息しているのか、分かれば、簡単でいいですけど、イノシシ、鹿の対馬島内の生体数ですよ。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず、イノシシについては、明確な頭数というのは推定できる手法がまだ確立されていないということであります。

鹿のほうは、ある程度、その、ふんの数とか、そういうことで確立されておまして、先ほど申しましたように令和2年1月長崎県が実施した生息調査では、対馬島内に約4万1,000頭の生息がいるだろうと推定をされているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） ありがとうございます。

4万1,000頭といえば、年間、鹿で昨年8,000頭ぐらい捕ってあるんですけど、なかなか追いつかんと思います。やはり、あれは1産1頭ですか、鹿は。1頭ですね。4万1,000頭のうちメスが3万、半分にしても毎年2万頭おるとすればやっぱり、毎年2万頭ずつ生まれたら

ですね、8,000頭じゃ、とてもじゃない追いつかんと思います。もっと力を入れてぜひこの全部を捕るということは難しいですけど、やっぱりある程度減らしてもらうように市としても今後、いろいろ研究していろんな施策もできておりますが、ひとつ頑張ってもらいたいと思います。何かあれば……。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） ありがとうございます。

私たちも、今、議員心配されてありますように、この3月まで令和2年度は、今約9,500頭の捕獲見込みだということを知っております。そういう中で、私いつも、関係者の方と話をするときには、今後、人的な捕獲だけではなかなか難しいんじゃないかということで、今後またいろいろ関係機関との御協力を頂きながら、科学的な捕獲……

○議長（小川 廣康君） 時間が参りましたのでまとめてください。

○市長（比田勝尚喜君） すみません。そういったところも目指してまいりたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） これで、新政会の会派代表質問は、終わりました。

以上で、本日予定しておりました会派代表質問は、終わります。

暫時休憩します。再開を11時20分からいたします。

午前11時07分休憩

午前11時20分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

日程第2. 市政一般質問

○議長（小川 廣康君） 日程第2、市政一般質問を行います。

本日の登壇は3人を予定しております。

それでは、届出順に発言を許しますが、あらかじめ申し上げます。午前の部が若干時間がずれ込むことが予想されますので、御了承お願いしたいと思います。

1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 皆さん、おはようございます。1番議員、新政会の坂本充弘でございます。

今定例会においては最初の質問者となりました。よろしく願いいたします。

私は、4年前の平成29年対馬市議会議員一般選挙におきまして、市民皆様の多数の御支援を